

アルゼンチンの フォルクローレの魅力

開催概要

アルゼンチンのフォルクローレのアーティスト、ラウル・オラルテ氏を招き、タンゴの都ブエノス・アイレスとは異なるアルゼンチンの側面を、演奏を交えながら講演形式で紹介します。また、その音楽をいっそうイメージしやすいように風景写真家松井章氏による講演を交え、同時にウマワカ溪谷の写真を展示します。

開催日時

2024年 **10月21日** (月)

17:30~19:30

@明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー地下1F 1001教室
(約266席)

※オンライン開催はありません

講演者

ラウル・オラルテ氏 (ケーナ奏者)

アルゼンチン出身のケーナ奏者。7歳からケーナを始め13歳で世界的なフォルクローレ音楽祭に参加。1997年には天皇皇后両陛下のアルゼンチンご訪問の際に、日本大使公邸で御前演奏を行い、日本にもファンが多い。

松井章氏 (写真家)

1977年東京生まれ。神奈川大学スペイン語学科卒業。学生時代から南米に通う。現在は南米専門の山岳旅行ガイドをする傍ら、「南米大陸の幻想風景」をテーマに風景写真家として活動。日本写真家協会正会員。

寺澤むつみ氏 (ギター奏者)

クアトロ、チャランゴ、レキントギターなどのラテン音楽特有の弦楽器を弾きこなし、日本屈指のラテンギタリストとして活躍。ラテンアメリカの音色や雰囲気表現できる高度な演奏技術と、ラテン音楽に関する豊富な知識が高く評価され、国内外のさまざまな演奏家と共演。



←明治大学HP
イベントページ



Embajada Argentina
en Japón